

図書館だより

2016秋

No. 241

調布市立図書館

水木しげる氏

表紙絵

=みんな友達=

表紙絵：水木しげる

- ・ 特集 蔵書点検の謎に迫る！ 2～4
- ・ 地域を知る地図更新中 5
- ・ 図書館ガイダンスを実施しました 6
- ・ あんな情報・こんな情報 7
- ・ 地域ゆかりの歴史・文化・伝統 8

※音声版をご希望の方は図書館へご連絡ください

蔵書点検の謎に迫る！

毎年図書館で行われている蔵書点検ですが、どんなものを詳しく知っている人は少ないのではないでしょうか。今回は、分館蔵書点検の様子をとおして、知られざるその実態に迫ります。

蔵書点検とは！？

データ上は「在庫」で、棚にあるはずなのに、実際にはなくなっている本や、本来あるべき場所と違う場所にある本などを見つけるための作業です。

ハンディターミナルと呼ばれる機械で、図書館の棚にあるすべての本のバーコードを読み込みます。読み込んだデータとサーバ上のデータを照らし合わせて、違いがないかを確認します。



▲ハンディターミナル

蔵書点検、その実際！！

①準備

蔵書点検中は、本を返却処理したり棚から動かしたりすることができません。そのため、蔵書点検の朝は、まずブックポストに返された本を返却処理し、予約がある本を棚から集めます。

また、バーコードの読み込みがしやすいよう、本がつまっている棚に余裕をもたせたり、間違った場所に置かれている本がないか確認したりするため、棚の整理をします。



◀ ▲ 棚の整理

②ハンディターミナルの設定



準備ができれば、ハンディターミナルの使い方や蔵書点検作業の注意点を確認します。またこのときに、ハンディターミナルの「書架設定」をします。図書館の棚には、それぞれ「文庫本」「大型本」「絵本」など、置いてある本の区別を表す「書架コード」がついています。これから点検する棚の「書架コード」を、まずハンディターミナルに入力します。これが「書架設定」です。例えば、「書架設定」を「文庫本」にして点検した時に、他の設定の本が棚に紛れ込んでいると、あとでエラーとして報告されます。本の置き場所や、データの設定が間違っていることがわかります。

③バーコードの読み込み

一人ひとりの分担する棚を決めて、地道に一冊ずつバーコードを読み込んでいきます。薄い本が多い本棚は、読み込み漏れがないよう特に注意が必要です。また、辞書や辞典などの大きい本や、箱から出さないとバーコードが読み込めない本は、二人がかりで作業します。



蔵書点検 昔

蔵書点検の歴史は図書館が開館した昭和41年度から始まります。昔は「曝書（ばくしょ）」と難しい言葉で呼んでいました。コンピュータが導入される前、本の検索は2種類の目録カードを使っていました。分類順に並べた「基本カード」と書名順に並べた「書名カード」です。蔵書点検は、基本カードと棚にある本が一致しているか確認する作業で、2人一組で、1人が声を出してカードを読み、もう1人が本を探しました。棚の本の突き合わせが終わると、今度は貸出中の本も突合せをしました。

現在は静寂の中、ハンディターミナルでバーコードを読み込む時の「ピッ」という電子音を聞き逃さないように作業しますが、昔は職員の声が朝から晩まで館内に響いていました。目録カードを読み上げるときは、「相手に聞き取りやすく、間違いなく」と気を遣っていました。

④エラーの確認と突合処理

ハンディターミナルで読み込んだ本のデータを、図書館システムのサーバに送信します。置き場所が間違っている本や、サーバ上にデータが無い本などのリストが出ます。このリストを元に間違いを正します。

そのあとは「突合処理」を行います。ハンディターミナルで読み込んだデータとサーバ上のデータを照らし合わせ、ハンディターミナルで読み込まれなかった本の状態を「在庫」から「不明」に変更します。「不明」となった本は、皆で手分けして探します。読み込み漏れの本もあれば、残念ながら見つからない本もあります。

🔪これだけじゃない！蔵書点検

点検作業後に、本の配置変更や清掃など、開館中にはできない作業をします。



▲ 本の移動

棚の清掃 ▶



平成28年度分館蔵書点検の結果

分館名	休館期間(染地は工事休館含む)	点検対象数	不明資料冊数	不明率
国領	6月 6日(月)～6月10日(金)	50,796 冊	180 冊	0.36%
調和		48,559 冊	114 冊	0.23%
宮の下		44,063 冊	73 冊	0.17%
若葉	6月13日(月)～6月17日(金)	53,145 冊	169 冊	0.32%
染地	5月23日(月)～6月21日(火)	53,536 冊	95 冊	0.18%

休館中はたいへんご不便をおかけしました。図書館では今後も適正な資料管理に努めてまいります。皆様のご協力をお願いします。

調布市立図書館 50 周年記念キャラクターじろ▶



地域を知る地図 更新中

『地域を知る地図』ってなに？

分館は地域の情報拠点です。調布市の図書館では、その地域ならではの情報発信手段のひとつとして、図書館の周辺情報を集めた地図を作っています。それが『地域を知る地図』です。

『どうやって作っているの？』

調布市の防災マップや調布市全図などを元に地図を作っています。

図書館や、学校・幼稚園・保育園、警察・交番、消防所、避難所など基本的な情報だけでなく、公衆電話や郵便ポスト、駅やバス停など、それぞれの地域で必要と思われる施設の情報をのせています。

『他にもあります、地域の情報』

分館では『地域を知る地図』の他に、分館周辺の施設を表にした『周辺施設一覧』や、分館の近くにある施設のパンフレットや観光マップなどを集めた『まちの施設ガイド』を作成し置いています。各分館ならではの情報を知ることができますので、ぜひ手に取ってご覧ください。

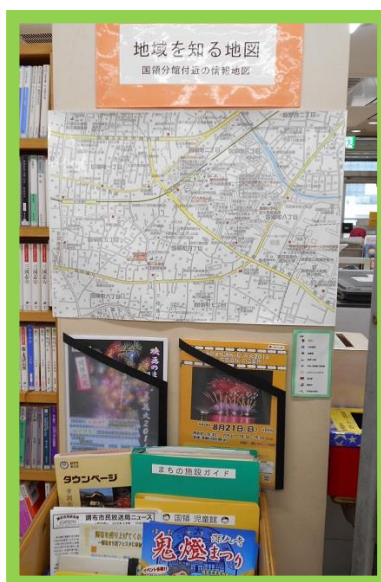
『新しい情報 お寄せください！』

『地域を知る地図』は3年ごとに更新しており、今年は更新の年です。地域の新しい情報をお持ちの方は、ぜひ分館へお知らせください。



▲富士見分館

地図の周辺に、ミニバスの時刻表を掲示しています。



◀国領分館

調布市で催されるイベントのチラシや電話帳なども一緒に置いています。

▼神代分館



周辺施設一覧を掲示し、調布市や図書館からの情報を配布しています。

図書館ガイダンスを実施しました

今年も、図書館の使い方と本の世界の楽しさを知ってもらうため、市内の公立小学校3年生に学校近くの図書館に授業中に来てもらい、ガイダンスを行いました。

本などの借り方、返し方および本の並び順などの図書館の使い方を説明すると、「図書館はなぜ無料なの?」「本はどれくらいあるの?」「一番人気の本は何?」「一日に何人くらい来るの?」など、多くの質問が出ました。

その他に、ブックトーク（テーマに沿っていくつかの本を紹介すること）とストーリーテリング（昔話などを覚えて本を見ないで語ること）も行い、子どもたちは笑ったり、驚いたり、感心したり、本の世界を楽しんでいました。

紹介した本は、市内の図書館それぞれの館で展示し、多くの子どもたちが放課後や休日に図書館に読みに来てくれました。

<ブックトークの一例>（ブックトークのテーマと紹介した本は、各図書館で異なります。）

テーマ：「学校っておもしろい!？」

紹介した本：『サーカスの学校』『フングリ・コングリ 図工室のおはなし会』

『ラモーナ、八歳になる』『ウエズレーの国』

テーマ：「あっ!とおどろくはなし」

紹介した本：『ぺちゃんこスタンレー』『おとうさんがいっぱい』『中をそうぞうしてみよ』

『動物たちのビックリ事件簿』『エパミナダス』（『おはなしのろうそく 1』に収録）



図書館を使ったことがある人～!



「サーカスの学校」には「ジュ」という授業があります。どんな授業でしょうか?



「フングリ・コングリ」
みんなできるかな?



中央図書館 ガイダンスの様子



★ あんな情報・こんな情報 ★

図書館50周年記念展示



図書館は、昭和41年6月10日に開館し、今年で50周年を迎えました。そこで、調布市立図書館では「調布市立図書館開館50周年 あの時へタイムトラベル」と題し、開館当時に関する書籍などを展示しました。流行していたファッションに関する本、社会現象に関する本、話題になった文学作品、児童書といった幅広い分野の本を集めました。展示内容については、調布市立図書館のホームページで御覧いただけます。

※ホームページ掲載場所>トップ>図書館案内カレンダー>中央図書館>展示>6月2日掲載分

調布市のフェイスブックでも紹介されました。

☆10月15日(土) 午後1時～6時、16日(日)午前10時～午後5時に文化会館たづくり6階601・602会議室で昔の図書館の写真や用品などの展示会を行います。

小冊子「FC東京選手の

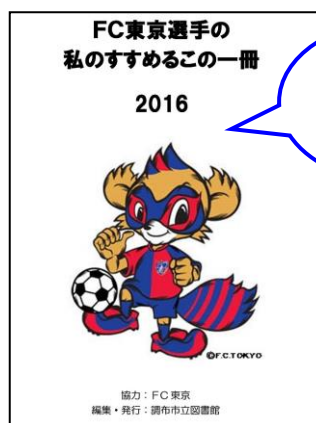
私のすすめるこの一冊 2016」

調布市は、基本計画の中で「FC東京等とのパートナーシップ」を掲げ、味の素スタジアムをホームスタジアムとしているFC東京を、平成11年から応援しています。

地域ゆかりのチームや選手を通じたスポーツの振興と読書推進のため、FC東京と調布市立図書館が連携して、この冊子は作られました。3回目となる今回。ついに、表紙にFC東京のチームマスコット「東京ドロンパ」が登場しました！本を通じてFC東京の選手に触れ、また選手を通じて素晴らしい本との出会いがありますように。

この小冊子は、調布市立図書館全館で無料配布しています。調布市立図書館ホームページでもご覧いただけます。調布市立中央図書館の4階新刊コーナー前、FC東京応援展示コーナーで展示もしています。

選手お気に入りの1冊が、あなたのお気に入りの1冊に。



WE ARE
TOKYO !!



や っ ぎ
八 剣 神社の伊奈半左衛門神霊

井 上 明 枝

京王線柴崎駅から南に八剣神社があります。松の
大木そびえる鳥居をくぐり（写真）社殿へ。敷
石の参道の左右には狛犬や灯籠が配置され、社殿
の前に解説板「八剣神社由緒」があります。

祭神は鈴木藤四郎義春、鈴木源五郎義賢、鈴木
平六郎義尚、鈴木
秀太郎義澄、鈴木
勘次郎義宣、大竹
重郎信昭、大竹新
吾政親、大竹甚兵
衛政康の八神霊。
配神は素戔鳴大神
と伊奈半左衛門
の神霊と記されてい
ます。



祭神の八人は
鎌倉幕府の家臣でしたが、北条氏が滅亡。「此の地
方に在住し原野を開き初めて一村大町を起す。
因って村民創業の功労を賞賛し八人の佩刀を神宝
として産土神に奉仕す。因って八剣神社と称す」。

配神の伊奈半左衛門の神霊については、文政年
間の頃（1818～30年）飢饉のため村は疲弊
して半ば離散した家も出た。その辛苦を救うため
代官所から二百両の金を援助、おかげで危機を脱
した。いま安穏な生活ができるのも素戔鳴大神と
半左衛門の二神霊のおかげであり、伊奈神社を尊
敬し相殿配祀されたと記されています。

「半左衛門」は通称で本名は伊奈忠順。伊奈氏
は三河出身。徳川家の譜代の家臣で、家康の江戸
入りに従った忠次は武蔵足立郡の小屋陣屋（伊奈
町）で一万石を領し、代官頭として関東周辺の幕
府領地支配を取りしました。以後、関東郡代
の職を世襲した伊奈家は検地や新田開発、河川の
改修など土木技術を得意としました。

忠順は元禄10年（1697）家督を継いで関
東郡代となり、江戸深川の永代橋架設、深川築地
の水防堤築造など江戸の街造りに努力しました。

宝永4年（1707）11月23日に富士山が

大噴火を起こしました。4年前に房総を震源にし
たM8級の大地震と津波で大損害を受け、噴火1
ヵ月半前には南海トラフが震源となり前回は上回
る地震・津波が東海から九州を襲いました。「なに
やら不気味」な予感の中で富士山が爆発したので
す。10億立方メートルと推定される土砂が噴き
とばされ半月にわたって降灰が続き、山麓地方は
もとより江戸や関東も深い砂に埋もれたのです。
田畑や道は埋まり川は氾濫、集落は直撃され人々
は飢えに苦しみ多くの人が亡くなりました。

このとき救援・復興の総指揮をとったのが伊奈
忠順でした。宝永5年1月、砂除川浚奉行に任命
され死去する正徳2年（1712）2月まで4年
間、その任に努力しました。降砂がもっとも深か
った駿河御厨地方（小山町・御殿場）や洪水を繰
り返す酒匂川で痛めつけられた穀倉地帯の足柄地
方はじめ被災地全体を自ら歩いて惨状を確認まし
た。直接、住民の声を聞くとともに数々の訴えを
書面で提出させ検討しました。

幕府の災害対策の基本方針は忠順の上役である
勘定奉行・荻原重秀の下で検討されていましたが
その会議に被災地の村代表三人を伴って出席、苦
しみの声を直接聞かせ、村人たちが切望していた
砂除金の支給を正式に決定させたのです。異例の
ことであり、忠順という人間の誠実さが住民の心
に伝わったに違いありません。御厨地方の吉久保
村、次いで須走村に忠順を祀る伊奈神社が建てら
れました。八剣神社に村の開拓者とともに伊奈神
社が合祀されたのも温かい政治の遺徳でしょう。

刊 行 物 番 号

2016-94

図書館だより 第241号

平成28年9月25日発行 [市内印刷]

発行 調布市立図書館

〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1

TEL 042-441-6181

<http://www.lib.city.chofu.tokyo.jp/>